

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川内水面漁業振興センター 管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	02水産業を振興する
事業実施期間	平成8年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	草谷川改修工事等により、地下水位が低下し畜養に十分な水量の確保が難しくなってきた。そのため、畜養計画をアユ、アマゴ等からニジマスに変更してきた。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川内水面漁業振興センターを運営し、加古川水系の水産資源を保全し水産業の振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川内水面漁業振興センター
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	専門性の高い施設であるため、加古川漁業協同組合に管理委託する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	5,021千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,021千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	05水産業費
目	01水産業振興費
細目	005水産振興事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	5,021千円	5,294千円	5,032千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	魚の畜養という専門性の高い委託業務であるため、引き続き加古川漁業協同組合に委託し事業推進することが望ましい。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	加古川内水面漁業振興センター 管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
内水面漁業協同組合数	組織	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川内水面漁業振興センター管理運営等委託料	円	4,800,000	4,800,000	4,600,000
内水面漁業振興センター修繕料	円	221,400	493,520	432,000
活動指標分析結果	施設運営には必要な委託料である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
加古川内水面漁業振興センター放流実績	匹	10,275	15,540	15,090	平成32年度	15,000
成果指標分析結果	平成30年度の実績は平成29年度と比較すると数字は減少したが、加古川の水産資源確保に一定の成果があるものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	水産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	02水産業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	水産資源増加、水質向上のための取り組みのモニタリングの結果、水産資源の増加を確認することができ、維持もしくは増加傾向であると考えられる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	○水産資源の増殖、水質の向上を図る。○漁業者数の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	東播磨漁業協同組合及び加古川市漁業区域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	○海底耕うん、水産資源(浅場)の機能低下を招く生物の除去及び機能発揮のための生物(アサリ)移植、保護区の設定、河川清掃等の水産多面的機能発揮対策活動○ヒラメの稚魚の放流やたこつぼの投入、のりの養殖のための浮標灯設置事業を行う漁業振興事業○東播磨漁業協同組合員の漁船保険費用の補助事業

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	4,155千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	50千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,105千円

【会計】

会計	01一般会計
款	06農林水産業費
項	05水産業費
目	01水産業振興費
細目	005水産振興事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,155千円	4,042千円	3,994千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	全国的な漁獲高の減少傾向により、漁業者の減少は避け難いものとなっているなか、漁業の経営安定のための補助等を行うことで漁業者数が維持できている。また、水質向上や水産資源の増加に向けての取組みにも効果が期待される。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	水産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
東播磨漁業協同組合員数	人	49	52	46

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水産多面的機能発揮対策活動実施回数	回	9	8	8
漁業振興事業補助金額	千円	1,780	1,800	1,795
補助金交付対象者数	人	50	52	48
活動指標分析結果	水産多面的機能発揮対策活動については29年度と同水準の活動内容を維持した。また、水産資源の増殖、漁業者数の維持を図るといふ観点から適切な補助金額であると考えます。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
東播磨漁業協同組合員数	人	49	52	46	平成32年度	52
漁業経営体数	経営体	39	42	36	平成32年度	42
成果指標分析結果	近年、全国的な漁業者減少の流れがあるが、一定の水準は維持できていることから、事業成果が認められる。					